



チーム出東

夢と希望にあふれる学校

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○元気な子

○ふるさとを愛する子



出東小学校 令和7年度学校だより NO.16 1月8日号 文責：秦 康人

2026年（午年）のスタート 目標に向かってまっすぐ進もう！

あけましておめでとうございます。2学期末には複数の学級がインフルエンザによる学級閉鎖をしましたが、最終週にはそれも収束し、無事終業式を行うことができました。

2学期は修学旅行、学習成果発表会など、大きな行事がたくさんありましたが、それぞれの活動を通して、学校教育目標「ふるさとを愛し 進んで学び 心身ともにたくましい子どもの育成」に近づくことができたのではないかと思います。

さて、11月に行った学校評価アンケートでは、学校経営の重点項目「進んで学ぶ子」「やさしい子」「元気な子」「ふるさとを愛する子」の4つのめざす子ども像と、基盤の取組と位置付けている「開かれた学校づくり」「同和教育を基底に据えた教育活動」「健康の保持・元気に学ぶ教職員集団」の3つの取組について、児童・保護者・教職員からのアンケート調査を行いました。結果の詳細については、改善点も含めて後日お知らせしますが、概要は次の通りです。

- 多くの項目で教職員、児童、保護者の肯定的な評価（そう思う＋だいたいそう思う）が80%以上を達成しており、学校経営の方向性や具体的な取組みが概ね理解され、支持されていると思われる。
- 「進んで学ぶ子」の育成（学習面）では、わかりやすい授業の工夫やICT活用についてが高い評価を得ており、学習環境の整備と授業改善には一定の成果が見られる。
- 「やさしい子」の育成（生徒指導面）では、相互に認め合える雰囲気づくりやメリハリのある指導について、概ね肯定的な評価が得られているが、思いやりの心の育成やいじめ防止に関しては、今後も100%の肯定的評価を目指して、取組を続けていく。
- 「元気な子」の育成（生活・健康面）では、スマイル週間などの取組に一定の成果が見られるが、メディア機器の使用については、継続した指導が必要だと感じている。また、あいさつと廊下歩行について、教職員は大きな課題があると感じており、早急な取組が必要である。
- 「ふるさとを愛する子」の育成（ふるさと教育）では、全体的に肯定的な評価が高くなっており、地域の教育資源や人材を生かしたふるさと学習の成果が表れている。

3学期は、評価結果から改善策を模索し、次年度へのスムーズな移行を行っていきます。保護者の皆様のご協力をいただきたいと思います。よろしくお祈りします。

3学期は「まとめの学期」そして「新しい学年へ向けての0学期」

3学期は約50日間の短い学期です。今の学年の学習内容を学び落としがないようにまとめをしなければなりません。さらに、ここまでの学年で学習したことをもう一度見直し復習をして、4月からの新学期に備える必要があります。学校でもプリント等で復習をしますが、家庭学習でもしっかりとした取組ができるように声をかけていただきたいと思います。このまとめは、そのまま次学年への準備につながります。学校の教育課程は、どの教科でも今の学年の学習で身につけた力の上に、次の学年の学習を積み上げていくようにできています。「来年からがんばる」という考えでは次の学年の学習を進めていくのに非常に困難さをとまないます。「次の学年はどんな学習をするのか」「今やるべきことは何なのか」を意識して、今年度に立てた自分のめあてを大切にしていきたいと思えます。そして、できていないことがあったら、3学期のうちに補っていけるようにしていきます。また、3学期は学習の面だけでなく気持ちの面でも「新しい学年へ向けての0学期」にあたります。次の学年へ向けて、様々な準備をしていくことが必要です。



○6年生は中学校に向けての0学期と言えます。中学校という新しい環境の中で自分をさらに成長させるため

↓裏面へ続く

に、今学期は学習や生活への意識を整えていくことになります。

- 5年生はもうすぐ、6年生からバトンを引き継いで、学校のリーダーになります。下級生のお手本になる頼られるリーダーになってほしいと思います。
- 4年生はいよいよ学校全体のリーダーの仲間入りです。自分のことだけでなく、みんなのことも考えられる高学年になってほしいです。
- 3年生は4月からは小学校6年間の後半が始まります。教わることから、下級生に教えることが増えていきます。
- 2年生は4月から新しい学習（理科・社会・外国語活動・総合的な学習の時間）が始まります。今の2年生の勉強をしっかり身に付けておくことが必要です。
- 1年生は4月から新しく入学する1年生に、小学校のことを教えてあげる学年になります。そのために、3学期は、まだ知らないことをたくさん覚えてほしいです。



このように、3学期は学年ごとに、次学年への意識を高めていきたいと思います。

新年のスタートに際して

今年の干支は「午（馬）」です。馬という生き物は「勢いよく、目標に向かって真っすぐに進む動物」です。

馬は昔から人間の生活にとってもかかわりの深い動物ですが、とても立派で速い馬のことを「千里の馬（せんりのうま）」と呼びました。そこから転じて、「とても優れた才能を持つ人」を例えて言うこともあります。では「千里の馬」は、なぜそんなに速く長い距離を走れるのでしょうか？それは、「千里の馬」は目標を定めたら、脇目も振らず、ひたすら前を見て走り続けることができるからです。決して途中で立ち止まったり、諦めたりしません。

また、「千里の馬」は、自分一人の力だけで走るわけではありません。「この馬はすごい力をもっているぞ！」と気づいて、大切に育ててくれる人がいて、初めてその力を発揮できます。子どもたちは、無限の力をもっています。自分ではまだ今は気づいていないだけで、「千里の馬」は眠っているだけかもしれません。

3学期は、体育館の改修工事も終わり、体育の授業や行事（6年生を送る会や卒業式等）を通常通り行うことができます。出東小学校全体として、千里の馬のように、目標に向かって勢いよく、真っすぐ駆け抜けていきたいと思います。そして教職員も、子どもの「長所（いいところ）」を見つけ、子どもの中の「すごい力」をみんなで育てていきたいと思います。



—寄贈ありがとうございます—

今年度も、更生保護女性会出東支部の皆様から図書カードをいただきました。10月には斐川町更生保護女性会からも図書カードを寄贈していただいております。昨年度に引き続き、2つの更生保護女性会からの寄贈となります（斐川町更生保護女性会からの寄贈については、「学校だより No.11」に掲載しています）。

法務省のHPで調べてみると、更生保護女性会とは「地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体」と記載されています。斐川町内の各地区にもそれぞれ更生保護女性会があり、様々な社会貢献活動をしておられます。

今回も図書委員会の子どもたちが受け取り、お礼の言葉を述べました。本をたくさん購入して、調べ学習や読書活動にいかしたいと思います。



お子様や学校のことでお困りのこと、ご心配なことがありましたら、担任まで遠慮なくご相談ください。また、担任以外にも下記の職員を相談窓口としております。

- ・勝部 孝（教頭）
- ・勝部修治（不登校・いじめ対応 CN）
- ・石倉綾美（養護教諭）
- ・金築裕司（特別支援教育 CN）
- ・小林亮輔（スクールカウンセラー）
- ・太田桂子（スクールソーシャルワーカー）

「出東」学校ホームページははこちらから
<http://www.izumo.ed.jp/shutto-sho/>



「出東」学校ブログははこちらから
<http://blog.izumo.ed.jp/shutto-sho/>

